

授業科目名	公務員経済学 I	開講年次	2年次以上	単位数	1
サブタイトル	専門試験対策(マクロ経済学の計算問題)	担当者	小川 竜明		
講義概要	<p>【概要】 『一般社会科学(経済)Ⅱ』の学習を終えた学生を主対象に、本講座ではマクロ経済学の専門試験で出題される複雑な計算問題対策を行う。具体的な内容は以下の「授業内容」に示した通りであるが、受講者の理解度を考慮しながら進めていく関係で、多少変更する場合がある。 講義では過去に公務員採用試験で出題された問題を使用する。問題の解法(解き方とポイント)を示した後、類題を受講者自身で解き、答え合わせをするという形で進めていく。</p> <p>【到達目標】 計算手順を体得し、短時間で正答を導き出す「本物」の学力を身につけること。</p>				
履修条件	真剣に、公務員採用試験合格を目指す者。必ず、第1回目の講義に出席すること。				
教科書・参考書	<p>【教科書】教科書は指定しない。当方でレジュメ(教材)を用意し、それにしたがって、講義を進める。 【参考書】村尾英俊『公務員試験 最初でつまづかない経済学 マクロ編』(実務教育出版)、石川秀樹『試験攻略入門塾 速習! 経済学 過去問トレーニング(公務員対策・マクロ)』(中央経済社)</p>				
授業回数	授業内容				
1	オリエンテーション、学力診断試験、【45度線分析】インフレ・ギャップとデフレ・ギャップ				
2	【乗数理論(1)】封鎖経済下での投資乗数と政府支出乗数				
3	【乗数理論(2)】封鎖経済下での租税乗数、均衡予算乗数				
4	【乗数理論(3)】開放経済下での乗数理論				
5	【IS-LM分析(1)】国民所得及び利子率を求める問題				
6	【IS-LM分析(2)】投資の利子弾力性、貨幣需要の利子弾力性				
7	【IS-LM分析(3)】計算問題(基本)				
8	【IS-LM分析(4)】計算問題(応用)				
9	中間試験、解説				
10	【マンデル=フレミング・モデル(1)】固定為替相場制の下での財政政策、金融政策の効果				
11	【マンデル=フレミング・モデル(2)】変動為替相場制の下での財政政策、金融政策の効果				
12	【総需要・総供給分析(1)】総需要関数を求める問題				
13	【総需要・総供給分析(2)】総供給関数を求める問題				
14	【総需要・総供給分析(3)】国民所得及び物価水準を求める問題				
15	期末試験、解説				
評価方法	中間試験、期末試験(いずれも、教科書やノート等の持込不可)の成績のみで判定する。				
評価基準	中間試験(50点満点)と期末試験(50点満点)の合計が70点以上。				
その他	<p>①『一般社会科学(経済)Ⅱ』を履修していなくても受講は可能だが、本講座は経済理論に基づく計算問題対策であり、経済理論そのものを扱う講座ではないことに留意されたい。</p> <p>②真摯に講義を受ける学生の志気を下げるような行為(教室中に響く溜め息、大あくび、居眠り、私語、電子機器の使用等)を行った者には退室を命じるなど、厳正に対処する。</p> <p>③経済系科目は、他の科目以上に、高い学習意欲と強い忍耐力が求められる。1回でも欠席や遅刻をすると、その回の学習内容が抜け落ちて、それ以降の学習内容を理解するのが非常に困難になる。要望があればそれを極力講義に反映させるとともに、受講者の理解度を考慮しながら進めていくので、講義への積極的な参加を願う。</p>				